

学習プラン自動生成ツール | ご利用ガイド

これは何をするアプリ？

受講生の「開始日・学習できる日数・1日の学習時間・得意/不得意」などを入力すると、
日ごとの学習スケジュールを作ります。

結果はその場で画面に表示され、Excel (.xlsx) や CSV で保存できます。インターネット
やサーバは不要。パソコンのブラウザで開くだけで動きます。

使い方（3分で完了）

1. ファイルを開く

受け取った「.html」ファイルをダブルクリックして、Chrome/Safari/Edge などで開
きます。

2. ①基本設定を入れる

- 開始日／学習したい日数
- 1日の学習時間（スライドで1～6時間）
- 週に学習できる日数（例：5日）
- 起床・就寝・学習開始の時刻
- 休みたい曜日（複数選択OK）
- OSやPCスペック（目安）、メモ（任意）

3. ②技術スタックを選ぶ（分からなければ既定のままでOK）

- サーバ（例：Python/Django、Java/Springなど）
- フロント（例：HTML/CSS、JavaScript、Vue/Reactなど）
- データベース（PostgreSQLなど）
- インフラ（AWS、Dockerなど）
- その他（要件定義・Git/GitHub等）
- 経験レベル（未経験／基礎済／経験あり）と目標タイプを選ぶと、配分が自動調整
されます。

4. ③追加制約（任意）

- 学習できない特定日（祝日・用事など）をカンマで入力
- 週あたりの上限時間（例：12時間）
- 復習%・演習%、配慮事項（短文）

5. ④「最適化してプラン生成」を押す

下に日別の計画表が出ます（開始・終了時刻、トピック、時間数、学習メモ）。

6. 必要なら保存

- Excel (.xlsx) 出力／CSV 出力ボタンでダウンロード
 - 上部の「設定を JSON 保存」で、入力内容だけを保存 → 「JSON 読込」で再利用できます。
-

画面の見方

- 日付／開始時間／終了時間／トピック／学習時間 (h) ／メモ／リソースを表示します。
 - 経験レベルや学習スタイル、学習媒体の選択に応じて、**学習メモ（細目）**が変わります（例：本中心なら「章末問題→ノート化」、動画中心なら「視聴→写経→小タスク」など）。
 - 入力した「学習日数」は学習した日だけを数えます。休みの曜日や不可日、週の上限で学習できない日はカウントしません。そのため、カレンダー上の最終日が開始日から少し先に延びることがあります（仕様どおり・正常）。
-

よくある質問

Q. プランが出てこない／空のままです。

A. 「開始日」が空だと生成できません。まず開始日を入れてください。復習%と演習%の合計が 100% を超えて生成できません。

Q. 週の途中で詰まります。

A. 「週あたりの上限時間」や「週の学習可能日数」を超えると、その週の残り日は自動でスキップします。翌週から再開します。

Q. どのブラウザで動きますか？

A. Chrome / Edge / Safari の最新を推奨。インターネット接続は不要です。

Q. 個人情報は外に送られますか？

A. いいえ。アプリはローカル（手元の PC）だけで動きます。JSON/Excel/CSV も PC 内に保存されます。

スタッフ向けポイント（運用のコツ）

- 迷ったら既定の選択のままでも実用的なプランが出ます。
- 経験レベルと目標タイプを変えると、基礎→応用→成果物までの配分が自動調整されます。
- 途中で状況が変わったら、項目を直して再生成すれば OK（何度でも）。
- 学習計画は Excel 出力してコーチングの面談資料に使うと便利です。

トラブル時の最終チェック

1. 開始日が入っているか
 2. 復習% + 演習% ≤ 100%か
 3. 学習日数が多すぎないか（週上限・休み設定で実質進まないケース）
 4. ブラウザを最新にして再読み込み
-

クイック手順（掲示用）

1. HTML ファイルを開く
2. ①基本 → ②技術 → ③制約の順に入力
3. 「最適化してプラン生成」
4. 必要に応じて「Excel (.xlsx) 出力」または「CSV 出力」
5. 設定を再利用する場合は「設定を JSON 保存」